

## 水道メーターサプライチェーン における社会的責任の遂行

### メーターケース素材再利用拡大による環境負荷の低減

**お客さまに、温室効果ガス排出量の少ないメーター(\*1)をお届けします。**

地球温暖化対策として、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)をはじめとした温室効果ガス(GHG)の排出削減が世界各国において重要なテーマとなっています。

azbilグループでは、2020年10月に政府が示した「2050年カーボンニュートラル宣言」に準じて、脱炭素社会の実現を見据え、自らの事業活動、および製品・サービスの提供を通じて地球環境への貢献に向けたGHG削減に取り組んでいます。

アズビル金門グループのアズビル金門原町株式会社、およびアズビル金門エナジープロダクツ株式会社において、CO<sub>2</sub>の排出量が実質ゼロとなる電気<sup>(\*)</sup>を使用しています。

水道メーターの金属ケースを製造しているアズビル金門原町においては、100%非化石燃料由来の電気(再生可能エネルギー)を使用しています。

**福島県**

アズビル金門原町  
アズビル金門エナジープロダクツ  
白河工場

CO<sub>2</sub>の排出量が実質ゼロとなる電気<sup>(\*)</sup>を使用している3つの生産拠点

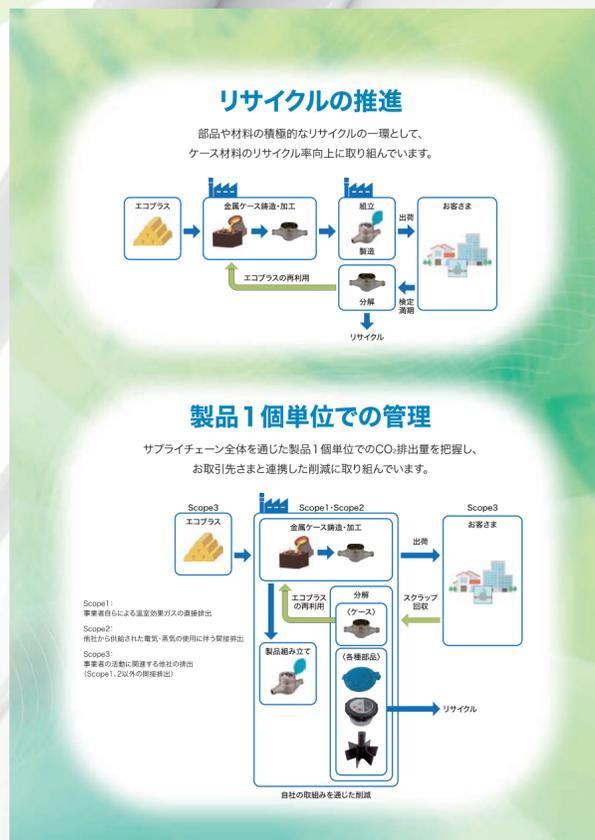
**再生可能エネルギーへの転換**  
アズビル金門原町の取組み

- 工場のエネルギー消費において排出されるCO<sub>2</sub>の94.3%削減<sup>(\*)</sup>を実現しました。
- さらにCO<sub>2</sub>排出量の少ない工場運営を目指して、電気自動車(EV)を導入しています。

\*1 温室効果ガス排出量の少ないメーター-当社由来は純水道メーター製造に関与する工場における2020年度の電力使用量に対して、電力調達方法変更前後での温室効果ガス排出係数を算出して比較

\*2 CO<sub>2</sub>の排出量が実質ゼロとなる電気。契約している小売電気事業者の提供メニューにおいて再生可能エネルギーであることによる

\*3 CO<sub>2</sub>の94.3%削減は、当社由来は純水道メーター製造に関与する工場における2020年度の電力使用量に対して、アズビル金門原町における2020年度の電力使用量に対して、電力調達方法変更前後での温室効果ガス排出係数を算出して比較



「メーターケース素材再利用拡大による環境負荷の低減」に関する説明資料

アズビル金門グループでは水道メーターケースをアズビル金門原町(株)で製造しています。バーター取引等で回収した水道メーターのうち、ケース素材にエコプラスを使用しているものについては、分解・素材溶解の後、これを再利用することで資源の有効活用と製造工程で発生する温室効果ガス排出量の削減を実現しています。私たちは環境経営推進を掲げ、本業による環境課題の解決と事業活動における環境負荷の低減という二本柱により、サプライチェーン全体でこの活動に取り組んでいます。ケース素材の再利用においては、分解工程におけるお取引先様との協業や製造工程における歩留まり率向上に向けた技術的な課題の解決などによりこれを実現しています。また、アズビル金門原町では、いち早く電力を100%非化石燃料由来のものに切替え、さらにこの電力を有効活用するために電気自動車を導入しました。電気自動車は災害時には自社のみならず、近隣の方々に非常時の電源としてご利用いただくことも想定しています。アズビル金門グループは『HAKARUと創るサステナブルな未来』の実現に向け、サプライチェーン全体で環境経営推進に取り組んでいます。

12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を

